



ワークショップの様子
講師の指導のもと、ミシンやアイロンを使って、スカートを製作しました。参加者同士協力しながら、完成した作品を着用して発表しました。



特別展の様子
原田氏が名誉学院長を務めた文化服装学院から、資料提供や原田氏の作品の貸出などの協力を得て開催しています。

ワークショップに参加して



もり あずは
森 愛絆羽 さん
(合志小5年)

初めてミシンを使って洋服を作りました。まっすぐ縫うのがとても難しかったので、原田茂さんは沢山のお洋服を作っていてすごいと思いました。また違う洋服も作ってみたいです。私たちが作ったスカートも展示しているのでぜひ見てください。

原田茂 特別展によせて



あいほら さちこ
相原 幸子 学院長

ものがない時代、日本が和装一色の時代に日本人を洋装に導き、パリなど、世界に負けない洋装文化を築いた原田先生は、尊敬に値する素晴らしい女性だと思います。当時のままに残る原田先生の技術、デザインをぜひ間近に感じてください。

はらだ しげ
原田 茂 特別展

令和3年11月6日～令和4年2月27日
合志市歴史資料館



文化財の活用事例
洋装への扉を開いた合志の女性
原田茂氏

原田氏は、和装が中心であった時代に、日本の洋裁教育の普及に尽力しました。

市では、令和2年度熊本県近代文化功勞者に顕彰された平島区出身の原田茂氏の功績を伝えることを目的に、3つの事業を展開しています。

1、原田氏の生涯を描くテレビドラマ放映

原田氏役を俳優の竹下景子さん、若き日の原田氏を元AKB48の北原里英さんが演じました。ドラマには原田氏の地元、平島区の住民の皆さんも多数出演しました。

2、スカート製作ワークショップ

交流促進事業として、『結ぶ』をテーマに開催しました。市内の小中学生を対象に、原田氏が愛した洋裁を通して、ものづくりの大切さを学びました。

3、特別展の開催

原田氏が実際に製作した作品を入れ替えて17点展示するほか、ワークショップで子どもたちが製作したスカートも展示しています。

ここでは、原田氏をより身近に感じてもらうために、各事業に関連して協力してくれた皆さんに原田氏の人物像を語ってもらうほか、特別展やワークショップの様子を紹介します。

原田茂氏の人柄を知る人



かきはら しん
柿原 眞 さん
(原田氏の甥)

伯母はやさしく穏やかな性格で、家では仕事の話をするのはほとんどありませんでしたが、とても働き者でした。晩年、病院のベッドの上でも縫い物をするように手を動かしていた仕事草が今でも目に焼き付いています。



しまだ あきこ
島田 昭子 さん
(原田氏の同僚・原口出身)

原田先生に憧れ、文化服装学院で学び、教員の道へ進みました。大きく変化する時代を力強く生きてきた原田先生。厳しさの中にも優しさのある芯の通った人柄に、意志の強い“合志の女性”らしさを感じていました。

問い合わせ先

生涯学習課 生涯学習班
☎(248)5555

私が感じた原田氏は、洋裁への熱い思いを持った、芯の強い真っ直ぐな女性です。原田氏のことを知れば知るほど、その人柄や情熱に引き込まれました。担当として、郷土の後輩として、「原田氏の功績を多くの市民の方に知って欲しい」という強い思いで、取り組んできました。ぜひ特別展にご来場ください。

私は原田氏と同じ平島区の出身です。この事業の担当になり、自ら調べることはもちろん、原田氏の親族の元へ幾度となく足を運び、原田氏のとなりや当時の話をたくさん聞きました。また、東京の文化服装学院や生前住んでいた自宅を訪問し、原田氏のルーツも知りました。



まつもと そういちろう
松本 聡一郎 さん
生涯学習課